

14 番（小川義昭議員）

いずれにしましても、第2期計画でしっかりとした計画をぜひ立ててください。

実は、私自身も約10年前から自家用車を電気自動車に変えました。そして、CO₂の排出を抑えております。また、自宅も再生可能エネルギー、太陽光発電システムを取り入れるなどして、温室効果ガス削減の取組を私自身はやっておりますので、今、市長からありましたように、これからもしっかりと対応を取っていただければなというふうに思います。

12点目の質問です。

今回の第2期計画における温室効果ガスの削減目標は、基準年度を2013年度とし、計画期間は、目標年度2030年度を最終年とする10年間として、二酸化炭素排出量を2013年度比28%、数量にして14万8,000トン以上を削減し、2050年温室効果ガス実質排出ゼロを目指す計画となっております。

そこで、1点目です。

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティ実現に向けては、国・県との連携も大事ですが、本市に望むのは、具体的な省エネルギー政策と再生可能エネルギーの推進策を内外に示すなど、目標達成の道筋を可視化するロードマップであります。市民の理解を得る上でも有効な手だてと思いますが、いかがでしょうか。

2点目、脱炭素社会実現に向けての政策を市内に浸透させ、広く市民、事業者や各種団体などの理解を得る周知対策がほかにあれば、併せてお答えください。